

秋の全国交通安全運動

令和4年9月21日(水)から9月30日(金)までの10日間

第五十七号 (秋号)

交通安全通信

- 《目的》県民一人ひとりが安全を第一に考え、
 交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努めることにより交通事故防止を図る
- 《スローガン》安全をつなげて広げて事故ゼロへ
- 《運動の重点》1 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保
 2 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶
 3 自転車の交通ルール遵守の徹底
 4 自転車安全五則の周知・徹底

地域安全教育センター
 「笑顔になれる教習所」
 スルガ自動車学校
 〒424-0204
 静岡市清水区郷津中町522-1
 0120-017-120



9月30日は交通事故死ゼロを目指す日

交通事故の記録が残っている1968年以降で交通事故で無くなった方がゼロの日って何日あると思いますか？
 答えは「ゼロ」です。(1人という日はありました。)
 50年以上毎日、日本のどこかで交通事故で命を落としています。それによって悲しむ人はさらに沢山います。みんなで力を合わせてゼロにしましょう！

清水警察署より

清水の交通事故

清水警察署交通安全係

金岩係長

清水区内では、8月末時点で、約700件の人身事故が発生し、その結果4人の方がお亡くなりになり、約800人の方がケガをされました。
 死亡事故は去年よりは減っていますが、県内の他の地域の中で最も多です。

止まれは止まる

特に多いのは「出合い頭事故」です。交差点を通過するときに、駐車場から道路に入る時に他の車や自転車とぶつかる交通事故がダントツで増えています。この出合い頭事故で問題となっているのが「一時停止無視」です。



この標識見ただけで止まる。車も自転車も一時停止しなければなりません。交差点で多いのは、この一時停止場所での安全確認が不十分だった、

清水海上保安部より

一発大波の怖さ

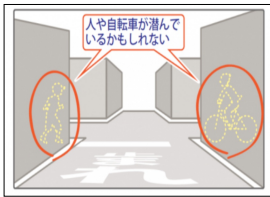
秋は、穏やかな天候の下で釣りを楽しんだり、波打ち際を散歩する人達が増えてきます。しかし、穏やかな海であっても大きな波「一発大波」への注意が必要です。

台風とうねり

夏から秋にかけては台風が多く発生する季節です。台風は、強い風で大きな波を起し、遠く離れた風のないところまで波「うねり」を「うねり」と言います。(を伝えます。うねりは、長い距離を伝える内に小さくなるのですが、状況によってはうねりが重なり、より大きなうねりになることがあります。

一発大波

台風の位置が沖縄県あたりだったとしても、千回に一回くらいの割合で通常の2倍以上の大きさ、高さの「一発大波」が静岡県沿岸を襲うことがあると言われています。写真は、同じ日の同じ



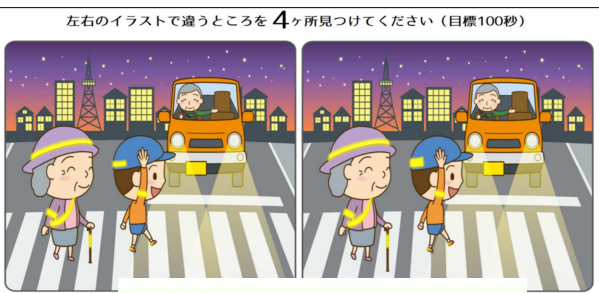
みんな、「事故に遭わない」「事故を起こさない」行動をしましょう！

かもしない運転を

一時停止がないからと言って気を緩めてはいけません。車や人が飛び出してくるかもしれないなど危険を予測する「かもしない運転」を心がけてください。



場所のものです。穏やかな磯場ですが、はるか沖合で台風が発生していたら「一発大波」に襲われ海に引き込まれるかもしれません。台風が発生しているときは、むやみに海に近づかないようにしましょう。



まちがいがさし！こたえはうらを見てね

事故が多いのは何時？

一日のうちで死亡事故が多いのはいつでしょう？

- ① 朝
- ② 昼
- ③ 夕方
- ④ 夜

正解は、③の夕方です。夕方は仕事や学校帰りの車や歩行者が沢山通ります。

「朝だって人がいっぱいいるじゃない」って思いますよね？

朝も確かに人が多いですが、違うところがあります。それは「暗さ」です。朝は明るいですが、夕方は暗いですよね。

暗くなると周りが見えにくくなります。だから危険を見落としがちです。死亡事故が多いのは、夕方の5時から7時です。



事故が多いのは秋

夕暮れ時に死亡事故が多いのは「10月から12月」です。

日没の時間が早くなるからです。8月は大体夕方の6時半頃ですが、10月になると5時半頃です。11月になると4時半頃になります。ちょうど会社や学校帰りの人が多くなる時間に暗くなってしまうんです。

夕暮れ時に多い歩行者事故

夕暮れ時になると、車と歩行者の死亡事故が増えます。屋間の約3・6倍にもなります。そして夕暮れ時の死者の約半分は歩行者です。ほとんどが道路を渡っている時に起きています。

「でも車が悪いんじゃない？」

そうでもないみたいです。道路を渡る時に横断歩道ではない所

を渡っていて事故にあって亡くなる方が実は沢山います。車のドライバーは横断歩道ではないところではあまり歩行者に注意していません。

だから皆さんが車の目の前にも気づかないことが多いのです。だから道路を渡る時は「横断歩道」を渡るのが一番安全です。

とにかく目立つ

車のドライバーから見てもらえる「明るい服装」で出かけてみましょう。左写真でもわかるように黒っぽい服は全然ドライバーから見えません。ピカッと光る反射材やライトを身につけているとさらに目立ってドライバーから発見されやすくなります。

6人の歩行者は、ドライバーから、こう見えています。

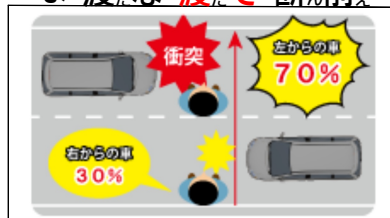
白色、黄色、水色、赤色、黒色、反射材

暗いとき、目立つ服装で歩きましょう

左からの車に注意

横断の死亡事故は歩行者から見て左から走ってくる車と衝突する事故が多く、特に高齢者の事故に多いのが特徴です。横断をする前に右左の安全確認をしていても、皆さんが渡っている間に車は何メートルも走ってきてしまいます。たとえ車が皆さんに気づいてもすぐには止まれません。

だから横断する前だけでなく、横断中も手をあげて右左を見ながら渡る。少しでも危ないなと思ったら渡るのを止めましょう。



まちがいさがしのこたえ 見つけれましたか？ 道路を渡る時もそのくらい真剣に安全確認しましょうね！

